

信号交差点 自転車の学生トラックにはねられ死亡 トラック運転手聴取

- ◇交差点には、必ず「人」や「自転車」や「車」がいる
- ◇相手は、「避けない」、「止まらない」…かもしれない

2016年8月13日(土)14時40分

12日午前4時10分ごろ、大阪府の国道の信号交差点で、自転車で横断歩道を渡っていた、大学生の男性(19)が右から来たトラックにはねられた。自転車の男性は胸などを強く打ち、搬送先の病院で13日死亡した。警察は自動車運転処罰法違反(過失致死)容疑でトラック運転手の男性(57)から任意で事情を聴き、信号の状況など事故の経緯を調べている。

熱中症に注意、「水分補給」 積卸作業足元に注意

「なれた道・なれた仕事」に注意！ <”だいじょうぶだろう”は厳禁です>

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

- ◇見られていますよ！ あなたの運転、あなたの作業◇
- ◇危険な運転・危険な作業は、自分・他人の命取りです◇

夏休み…小・中・高校生の自転車に注意しましょう！

運行管理者に逮捕状 過密勤務の疑い 休みは、今年1月5日から事故を起こした3月17日までに3日

2016年8月13日(土)7時30分

東広島市の山陽自動車道「八本松トンネル」で今年3月、2人が死亡し多数が負傷した多重衝突事故で、最初に追突したとして起訴されたトラック運転手に過労運転をさせた疑いが強まったとして、広島県警が道交法違反(過労運転の下命)容疑で、勤務先の運送会社の運行管理者の男の逮捕状を取ったことが、捜査関係者への取材で分かった。この事故では、トラック運転手の男性被告(33)が自動車運転処罰法違反(過失致死傷)のほか、過労で正常な運転ができない状態だったとして道交法(過労運転の禁止)違反の罪でも起訴された。被告は公判で起訴内容を認め「インフルエンザでも休ませてもらえない同僚がいて、自分だけ休みがほしいと会社に言いづらかった」と明かしていた。捜査関係者によると、運行管理者は今年1月以降、被告に過密な勤務を課し、事故を起こさせた疑いが持たれている。県警が運転日報を分析するなどした結果、被告の休みは今年1月5日から事故を起こした3月17日までに3日しかなく、事故前1カ月の拘束時間は国が定める上限の320時間を約100時間上回っていたことが判明していた。この事故で被告は居眠りをし、時速約80キロで渋滞停車中の車に衝突。トンネル内で火災が発生し、黒煙がたちこめる中、多くの人が車を置いて避難し、約70人が救急搬送された。

はみ出し、正面衝突 帰省途中の女性死亡

- ◇デイ・ライトで知らせよう…自分の存在、はみ出し、正面衝突事故防止◇
- ◇2時間ごとに、15分休憩で 守ろう！ 自分の命、他人の命◇

2016年8月13日(土)7時55分

12日午後0時50分ごろ、新潟県の日本海東北道で、会社員の男性(65)の乗用車が反対車線のり線に飛び出し、調理師の男性(31)の軽乗用車に正面衝突した。乗用車の後部座席にいた妻(62)が車内で胸を強く打ち死亡した。高速隊によると、男性夫婦は妻の実家に帰省する途中だった。現場は直線で見通しが良く、高さ約50センチのポールで分けられた対面通行区間。乗用車は側面からぶつかっており、男性は「ハンドル操作を誤った」と話しているという。

盆休みに遊びに行く途中 渋滞の最後尾に追突、多重事故 男女8人がけが ◇車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう◇

2016年8月12日(金)19時3分

12日午前10時40分ごろ、京都府の名神高速で、軽乗用車が渋滞で停車中の乗用車3台に次々と衝突する事故があり、6~64歳の男女8人が首などに軽いけがをした。けが人の中には、盆休みに遊びに行く途中だった家族連れもいた。高速隊によると、女性(62)が運転する軽乗用車が、渋滞の最後尾で停車していた乗用車に追突。さらに前方の別の乗用車2台にもぶつかったという。同隊によると、お盆の帰省に伴って渋滞が発生していた。

バイク転倒、対向車線にはみ出し…車と衝突 19歳重体

- ◇デイ・ライトで知らせよう…自分の存在、はみ出し、正面衝突事故防止◇
- ◇バイクをみかけたら…大きく車間距離をとりましょう◇

2016年8月14日(日)14時13分

13日午前9時35分ごろ、静岡県伊豆スカイラインで、会社員の少年(19)が運転するバイクが転倒、対向車線にはみ出し、会社員男性(39)が運転する乗用車と衝突した。少年は病院に運ばれたが、頭を強く打ち意識不明の重体。男性にけがはなかった。